



1年学年だより 第42号

☆ 最近の学年の様子について ☆

3学期が始まって一ヶ月が経とうとしています。始業式の日校長先生から「3学期は2年生への準備期間」という話があったのを覚えていますか。普段から学校で過ごす中で、意識していますか。

議員会として、3学期の学年目標を「カメレオン」と決定しました。

3学期 学年目標

「カメレオン」

意味…カメレオンが、周りの状況を判断して色を変えるように、周りをよく見て同じ仲間として、一緒に取り組み、信じ合い、互いに助け合おう。

これを目標に過ごしていこうとなりました。ただ、君たちの学校生活を見てみると心配なことがあります。休み時間での友達とのかかわり方です。

48期生の良いところは、「男女関係なく仲が良い」ということです。しかし、その仲の良い友達とのコミュニケーションの取り方はどうでしょう。度が過ぎた行動を起こしていませんか。仲が良いから何をしてもいいというわけではありません。自分では気付かず、いつの間にか友達を傷つけてしまっていたり、相手が不快に思っているかもしれないということを、心に留めておいてください。「親しき中にも礼儀あり」という、ことわざがあります。「どんなに親密で親しい間柄であっても、守るべき礼儀がある」という意味のとおり、お互いが気持ちよく過ごすためにも、もう一度自分の行動を振り返ってみてください。

それに伴って、2日(火)と5日(金)の2時間を使って、普段の「自分の言動を振り返る」「相手を思いやる」ことについて考える時間としました。そこでの君たちの様子を見てみると、真剣に映像を見たり質問の答えを考えたりと、前向きに課題に向き合い、よりよい48期生を目指している姿をみることができました。先生たちはとてもうれしい気持ちになります。

最後に、2日(火)1限に行った「いじりが暴走するとき」の授業における君たちの感想を載せます。もう一度、読み返すことによって、普段の学校生活を安心して過ごせる空間を作っていきましょう。



(1組)

- ・私は小学生のときにいじられることがあったから、真矢くんの気持ちがよくわかります。だから、今日の授業をうけて、改めて「いじり」はよくないと思ったし、いじられて嫌そうな人がいたら、助けたいなと思えるようになりました。
- ・自分が言われたら相手の気持ちを深く考えることはなかったけど、映像を見て、好きな友達が自分の心ない言葉で真矢さんみたいに何も言わず、帰らぬ人となるのは悲しいから、発言する前に相手の気持ちを考え、後悔しないようにしようと思いました。

(2組)

- ・「～なことしろ」とか言われてやったら面白くないし、しなかったら嫌なことを言われる。どうしようもないなあと思った。だから、自分もまわりの人に対する気持ちや言動を考えて、これから生きていきたいです。
- ・自分は今まで何も考えずに話していた。けれど、もしそれが相手の心をめちゃくちゃにして追い詰めていたらって考えると怖いです。何気ない言葉でも1つ1つ意味を考えて発言しないとな、と思いました。

(3組)

- ・「いじる」ことはエスカレートすると「いじめ」になってしまうし、自分でなかなか「やめて」とかは言えないと思う。周りも気づかないことがあるし、いじりはやめた方がいいと思いました。そして、誰かがいじっていたら、いじっている人に「アカンで！」って言いたいと思います。
- ・いじられて嫌な気持ちにならないという人はいないだろうし、いじるほうもその場の雰囲気や周りの人を笑わせるためにいじるのは良くない。相手が傷つくので、絶対にやらないほうがいいということを改めて思いました。自分もこれから自身の言動に気をつけて生活していこうと思いました。

(4組)

- ・これまで私は人をいじってしまったことがあった。しかし、今日の授業をうけて、自分はそんなにひどくしたと思っていないけど、いじりを受けている人はとてもひどいことをされていると受けとめている。些細なこともやめたほうがいいと思いました。
- ・自分もいじったりすることもあるから、気をつけようと思いました。それに、「いじり」は「いじめ」とは違ってたくさんあるから、正直、怖いなと思いました。